## さいたま No.808 2018.9.16 市議団 ニュース

#### 日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165 http://www.jcp-saitama.jp/

行 山崎 あきら 神田よしゆき 戸島 よし子

発

久保 みき もりや千津子 松村 としお

とりうみ敏行 大木

9月議会議案質疑 重度心身障害者の医療費支給 所得制限を導入するな

9月6日、9月議会の本会議で、議案に対する質疑がおこなわれ、党市議団を代表して戸島よし子市議が質疑に立ちました。はじめに、重度心身障害者の医療費支給に関する条例改正について質問しました。

- ア島 この条例改正は、重度の心身障害者 医療費支給に所得制限を導入するもの。 2015 年度にも大きな見直しがおこなわれた。見直しの内容と対象外人数とその影響 額、現在の支給対象者数は。
- 市 2015 年度では、心身障害者となった年齢が65歳以上の方を対象外とした。入院時の食事費の2分の1の補助を廃止。対象外人数は8897人で影響額は約4億円。17年度末の支給対象者数は、2万2934人。
- **戸島** 今回導入する所得制限で対象外となる 人数、影響額は。
- 市 新規で登録をされるのは年間50人程

度で、影響額は360万円。現在、受給資格登録者で、2022年10月以降に対象外となる人は700人程度。影響額は年間約9000万円。

2度の制度改悪で障害者への負担増が約5 億円にもなることが明らかになりました。

**戸島** 経過的措置の設定理由と内容は。

市 対象外人数が県内全体の2%に対し、本市は3.6%と県より多いこと、また、同等の所得・障害区分であっても制度の登録時期に応じて所得制限の有無に差が生じるため。市独自に、2022年度10月まで2分の1の額を助成する。

**戸島** 対象者への周知はどうするのか。

**市** 市報、ホームページで広く周知するとともに、登録者のすべての方に個別に周知していく。

戸島市議は医療費支給は重度の心身障害者 の方にとって命綱であることを指摘し、「県 障害者の雇用率水増し問題 さいたま市でも 実態調査・報告を

9月3日、党市議団は市長に対して障害者雇用の調査・報告を求める申し入れをおこないました。

8月28日、厚生労働省は、中央省庁で国のガイドラインに反して不正に障害者雇用率に算入していた人数が3460人にのぼり、33の国機関の8割に当たる27機関で水増しがあったことを発表しました。2017年度に雇用していると報告していた障害者は約6900人であることから、半分超が水増しされていたことになります。都道府県では、埼玉県を含む



28 県で、県内市町村でも越谷市(13 人)、 戸田市(12 人)で雇用率の水増しが発覚 しています。障害者団体からは「障害者 に対する背信行為だ」「法をつくった者が その法を守らない責任を問いたい」など 批判や怒りの声が上がっています。

今回の申し入れは、本市においても障害者の雇用状況を正確に調査し、市民や議会に報告することを求めるものです。 9月議会の一般質問で、松村としお市議がこの問題をとりあげる予定です。

が廃止しても、市が独自に継続した経験がある。市として独自に継続すべき」と主張しましたが、市はあくまで医療費負担の可能な方には負担を求めることを答弁しました。

#### 基準緩和は保育の質の確保に逆行

小規模保育事業所は、市内に122カ所あり、 利用児童は1942人です。事業所内保育事業 所は9カ所、65人の児童が利用しています。 今回の基準緩和は、これらの事業所において、 保育士の病休などでの代替保育の提供を小規 模事業者同士でできるようにすることと、食 事を外部業者から搬入できるようにするものです。

- **戸島** 代替保育について、「一定の要件を満たすとき」とはなにか。
- **市** お互いの間での役割分担及び責任の所在が明確化されていること。本来の業務の遂行に支障が生じないようにすること。
- **戸島** 保育所の食事はアレルギー対応など個別の対応が求められる。なぜ外部搬入を認めるのか。
- 市 事故の有無、アレルギーへの配慮、衛生 面、栄養面等、調理業務を適切に遂行でき る事業者を確認して認める。

# 厳しすぎる

ガイドラインの見直しを



要望書を受け取る党市議団

## NPO と懇談

9月3日、NPO法人「ほっとポット」か ら党市議団に対し、要望書が提出されました。 NPO 法人「ほっとポット」は独立型社会福 祉士事務所で、13年にわたりホームレス状 態にある方々へ支援をおこなっており、市内 で無料相談や緊急一時シェルター、地域生活

#### 見沼区

# 地域バス路線の拡充を 市に申し入れ

9月4日、見沼区住みよい街つくり連絡 会が、見沼区内の国際興業バス路線の拡充に ついて申し入れをおこないました。戸島よし 子市議が同席しました。

先月、6項目の要望を国際興業(株)さい たま東営業所に提出しましたが、今回の申し 入れは、市が要望の早期実現にむけてバス事 業者と連携をとり市民の足の確保に努力する よう求めたものです。

見沼区は、公共交通の空白地域が多く、高 齢化による免許証返上者も増え、移動手段に 不便をきたしています。春岡地域の住民は「昼 の時間帯にバスが走らないので、せめて1



申し入れに同席する戸島市議(右端)

時間に1本は走らせてほしい」、染谷地域の 住民は「染谷折り返し場までバスが通るとと ても助かるしなど切実な声を届けました。

都市局交通政策課は、「要望趣旨は理解し た。すぐに実現というわけにはいかないが、 地域住民の要望をバス事業者と協議し検討し ていきたい」と述べました。

戸島市議は「市は民間バス会社に対して住 民要求をしっかり後押しして欲しい」と述べ ました。

サポートホーム、障害者のグループホームな どを運営しています。「小規模巡回型」で福 祉専門職の現場支援が特徴です。

代表の宮澤進さんは、「市の無料低額宿泊所 の届出施設に関するガイドラインでは、施設 開設前に、近隣住民等への説明会で同意を得 たことが分かる書類を提出することが求めら れており、民間小規模支援団体にとっては乗

り越えられない壁になっている」として、小 規模支援団体に対する規制が厳しすぎる市の ガイドラインを県の水準に合わせるよう求め ています。また、「日常生活支援住居施設」新 条例(仮)において、「小規模巡回型」の支援 体制類型の明確な位置づけを求めました。

党市議団として要望を受け止め、今後の議 会活動に活かしていきます。

# 300

#### 浦和警察署に住民が要請活動

9月4日、南区の住民のみなさんと、も りや千津子市議が浦和警察署に対して、要 望を提出し懇談をおこないました。党市議 団が実施した市民アンケートへの要望にも とづき、過日住民のみなさんと南区くらし 応援室に要請をおこないましたが、今回は 信号機や横断歩道の設置、道路標識など警 察署所管についてとりくんだものです。

具体的な要望は「国道 17号、六辻交差 点から辻五反田バス停の区間に信号機か横



南区の住民ともりや市議(左から3人目)

断歩道の設置しと「産業道路太田窪交差点 付近の歩道橋を撤去し、信号機の設置しの ほか、事故が多発する場所の道路標識や横 断歩道表示の改善、など5項目にわたり ます。対応した所管課からは「現地調査を おこない、検討します」との回答がありま

### あなたの身近な議員です





















山崎あきら 神田よしゆき 戸島よし子 とりうみ敏行 久保 みき もりや千津子 松村としお 大木 学